

# 代替医療

## 最新ガイド

アガリクスは日本のがん患者の間で利用頻度の高いサプリメントの一つになっていいます。和名をカワリハラタケといい、一般的な慣用名でアガリクスまたはヒメマツタケと

か、現段階でははっきりと分かっていないことです。そういうわけですから、厚生労働省の発表やマスコミの一連の報道によるさまざまな情報に対して、患者の皆さんは冷静に判断・対応する必要がありますかと思えます。

今回は安全性の面をお話しします。記憶に新しいところでは、今年2月13日、厚生労働省が「アガリクス（カワリハラタケ）を含む製品の安全性に関する食品安全委員会への

3月20日のその後の報告で残りの2製品には、発がんプロモーション作用は認められませんでした。詳細は厚生労働省のホームページでも見ることができます。ぜひ一度ご覧になって下さい。



大野 智

は認められませんでした。詳細は厚生労働省のホームページでも見ることができます。ぜひ一度ご覧になって下さい。

食品健康影響評価の依頼について」と題した中間報告書を公表しました。

そのほか、アガリクスの安全性にかかわる情報としては、東京都健康安全研究センターの調査で市販されているアガリクス製品の中に、直ちに健康被害に結びつくような濃度ではないものの、カドミウムの含有量の高いものがあることも報告されています。

この報告書によると、試験が行われた3製品のうち1製品に、がんを促進させる発がんプロモーション（促進）作用が認められたとされています。そのため、該当した1製品は、販売者によって自主回収されました。ここで知っておきたいことは以下の3点です。

また、アガリクスに含まれるアガリチンという成分に関しても毒性が指摘されています。

一つは、この試験結果はネズミのラットを用いたものであり、ヒトに対してそのままではまるわけではないということです。

### 統一的安全性基準ないアガリクス

アガリクスは医薬品ではなく、一般の食品であるため、その安全性に関しては、各事業者が独自に検証しているのが現状です。つまり、

二つ目は、今回指摘された発がんプロモーション作用とは、他の発がん物質による発がん作用を促進する作用のことで、アガリクス自体ががんを引き起こすわけではないことです。

したがって、製品を購入するときには、製造・販売会社などが製品の安全性をきちんと調べているかどうかを事前に会社側に確認することが必要でしょう。（金沢大学補完代替医療学特任助教）

三つ目は、今回の試験ではアガリクスそのものが原因なのか、製品の製造工程で混入した何らかの物質が原因なの



サプリメントの原料になるヒメマツタケ（アガリクス）＝江口文陽・高崎健康福祉大学教授（きのこ学）提供